

機械・精密システム工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本機械学会2016年度年次大会
演題名	SUS304鋼の高温多軸疲労き裂進展と疲労寿命に及ぼす応力成分効果
発表者	○ <u>磯貝 毅</u> 、一色省吾※、高橋悠樹※
内容	2016年9月に九州大学伊都キャンパスで行われた上記学会において、磯貝准教授(当時)が上記演題を発表した。発表内容はSUS304鋼に対して、種々の引張・せん断組合せ条件下の疲労き裂成長試験を数段階の負荷相当応力振幅において行い、疲労き裂成長と寿命に及ぼす応力成分と応力レベルの影響について実験的に調べた結果について紹介した。疲労き裂成長寿命が組合せ条件・・・や負荷相当応力振幅・・・に依らず、巨視的な主応力振幅によりほぼ整理できること、き裂成長速度が組合せ条件や相当応力振幅によって特性が変化することについて報告した。本学会には磯貝准教授(当時)が参加した。